



ライオンズクラブ国際協会

Vol. 4

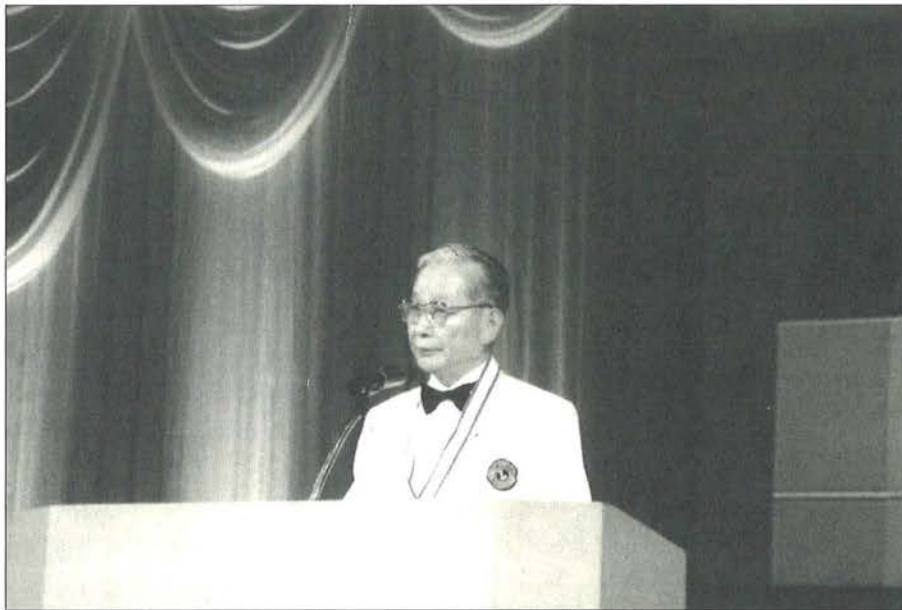
333-C地区ニュース

発行

1999～2000年度

地区PR情報委員会

地区ニュース編集委員



第46回地区年次大会で挨拶される岡野ガバナー



ライオンズクラブ国際協会
333-C地区ガバナー

L. 岡野 正義 (千葉LC)

ガバナースローガン

友愛と奉仕で創ろう 明日の日本 子らのため

任期満了を迎えて

昨年6月米国カリフォルニア州サンディエゴで開催された世界大会以来早くも1年が経過しようとして居ります。

去る3月までに、夏のLEO・YE合同サマーキャンプを始め、水辺のクリーン作戦、トルコ・台湾地震被害への救援、マニラの高校サッカーチームとの交流、東洋東南アジアフォーラムでの333複合地区合同船上パーティ、高校弁論大会、カンボジアのプノンベン・オーパイコーンLCへの公式訪問とLEO代表等による“カンボジア・

植樹と歴史探訪の旅”、流山シニアLC、四街道中央LCの結成、等夫れ夫れ思い出に残る素晴らしい活動をして頂きました。それぞれの関係各位のご努力には深く感謝致して居ります。

年度末近くでの最大の行事は勿論「地区年次大会」です。

私は地区年次大会は1年間の活動の総決算の場であり、従って主役は各クラブであること、また代議員会は時代の変化に対応しこれからのライオンズ活動の方向を討議する大切な場であると思っております。

この観点から、大会式典ではビデオによる各ク



年次大会で木下ガバナーエレクト夫妻から
花束を贈られた岡野ガバナー奥様

ラブの活動紹介の場を設けて頂き、代議員大会では各分科会とも「議案」について討議して頂きました。

地区内各クラブのご理解により約2千名の会員のご登録を頂き、また、ホストクラブ有志の方々の手造りにより楽しく感動的な大会式典とすることが出来ました。関係各位のご協力に改めて心からの御礼を申しあげます。また、大会当日、LEOの皆さんによる盲導犬募金が行われ、86千円の浄財をお寄せ頂きましたので、地区としても協力し、合計20万円として(財)アイメイト協会へ贈呈致しました。

4月17日には市原市の柿の木台ゴルフコースで、合同チャリティコンペを開催させて頂き、好天にも恵まれ、楽しい一日を過ごさせて頂きました。当日のチャリティ分119万円は、千葉県アイバンク協会の機器購入資金に40万円、カンボジアの小学校建設資金に40万円、会員数10人未満の3クラブ(長南・長柄・鋸南)の事業資金として各13万円宛て計39万円、と贈呈させて頂き、3クラブの会長さんからは感謝と前進への決意表明のお手紙を頂いて居ります。

また、これ等の努力により、当地区としては始めてLCIFから、(財)千葉県アイバンク協会機器購入支援に12千ドル、カンボジア小学校建設支援に13千ドル、計25千ドルの資金交付を頂くことが出来ました。今回の日本ライオンズに対する交付金は6件で、そのうち2件を当地区が頂く結果となり、当地区のアクティビティの質の高さを内外に示すこととなりました。これも全て、地区会員皆様の平素の活動が評価された結果でもあり、改めて深く感謝申し上げます。

5月20日には千葉花見川LCが結成され、

地区内クラブ数は119となりましたが、6月には更に市原グリーンLC、銚子コスモポリタンLEOクラブ結成の準備が進められて居り、その成功に大きな期待を寄せて居ります。

また、5月27～28日の複合地区大会についても、当地区から前夜祭に160余名、大会式典には500名近くの多数の会員の方々にご参加を頂き、お蔭様で成功裡に大会を終えることが出来ました。

そしてまた、私からの諮問事項に対し年度当初より熱心な討議を重ねて来て頂いた地区運営特別検討委員会の皆様から、素晴らしい答申を頂戴致しました。これについては、今後、意欲的なビジョンと素晴らしいリーダーシップをお持ちの次期木下地区ガバナーと共に力を合わせて、先の地区年次大会での決議案件と共に、その実現に努めて参りたいと存じますので、これからも地区会員皆様のご理解とお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

ハワイでの国際大会には当地区から約150名の参加を頂ける見込みであり、21日に13時よりハワイアン・リージェントで、雄大な海を眺めながら「次期ガバナーを励ます会」を開催致します。なお、来年インディアナポリスでは当複合地区より麻生貞市国際理事が誕生することもあるとあって、333複合地区でパレード、ジャパンレセプション、投票率の向上策の推進、等に主役として取り組む必要があります。引き続きご協力を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

この1年間、私にとっても悔いのない充実した1年であったと思います。皆様のご支援とご協力に改めて心からの感謝を申し上げ結びのご挨拶とさせて頂きます。本当に有難う御座いました。



年次大会グランドフィナーレで
会場に手を振る岡野ガバナー

第46回ライオンズクラブ国際協会333-C地区年次大会

Go! Go! MAKUHARI 2000

20世紀最後の地区年次大会「MAKUHARI 2000」はこれまでの年次大会の形式を根底からくつがえし「歌、映像、音楽、リズム、女性、子どもたち」と盛りだくさんの「見ていて楽しい、飽きのこないリズム」の素晴らしい大会だった。

今年度の地区PR情報委員長は数年前、年次大会がおもしろくないと長い論文をクラブ会報に投稿し物議を醸したが、MAKUHARI2000は当時指摘した点をことごとく改善され、参加者の目線で演出された全国的にも最高レベルの大会であったといって過言ではないだろう。

一年以上前から準備を進めてこられたL. 御園生 隆地区年次大会委員長をはじめとする年次大会企画委員会のみなさん。ビデオフェスティバルを演出された幕張メッセLCの阿佐Lをはじめとする映像部会のみなさん。多くの出演者、そして裏方ライオンの方々、そしてゴールデンウィーク直前にもかかわらず全面的に協力してくださった幕張プリンスホテルホテル。多くの知恵と時間と体力と心を結集したMAKUHARI 2000はこれからの年次大会のスタンダードになるに違いない。

昨年度の地区ニュース最終号に倣って、今号ではMAKUHARI 2000にかかわられたメンバーからご投稿をいただいたのでご紹介したい。

ライオンズクラブ国際協会333-C地区 20世紀最後の地区年次大会を無事終了して



地区年次大会委員長
L. 御園生 隆
(千葉京葉LC)

去る4月30日県下ライオンズクラブ会員皆様の絶大なるご協力により、スローガン《友愛と奉仕で創ろう 明日の日本 子らのため》を高く掲げた333-C地区第46回年次大会が無事終了いたしましたこと心から御礼申し上げます。

今更申し上げるまでも御座いませんが、年次大

会は、代議員による地区の今後の問題についての決議、今年度実施したことの承認、次期地区ガバナー選出など、年に一度の重要な大会であると同時に参加される旧知の会員の皆様の邂逅、友愛、親善を確認し合う場であるとの認識に立ち、年次大会委員会では『楽しい歓談と感動できる年次大会』を目標にこの一年間構想を練り準備致しました。

そのためには、タイトルを「MAKUHARI-2000」とし、次代を担う元気溢れる子供たちと、今後ますます活躍を期待される女性会員の協力、そして映像と音楽による構成を基本方針と致しました。私ども年次大会委員会並びにホストクラブ一同は、参加される皆様が満足頂けることを心から願い、全力を挙げて取り組んで参りました。

会場の配置、仮設舞台の設計、マルチメディア

を活用したスピーディーな運営、そして新しい企画であります、今年度各ライオンズクラブの奉仕活動を紹介する「ビデオフェスティバル」の作品募集と応募いただきました作品の編集等と予想をはるかに越える忙しさでありました。しかしお蔭様で2000名を超える登録を頂き心より感謝いたしております。

大会も終わり、ほんと致しますと、長期間の苦

ガバナーと女性LCともんじゃ焼き



地区年次大会副委員長
L 上野 国吉
(千葉LC)

地区年次大会は第42回(1996・船橋ポートアリーナ)あたりから、企画演出が改革されたようです。スローガンを掲げたりモコンの飛行船が場内を飛び回り、最後はラッキーカード入りの風船が天井から降りてくるという演出には度肝を抜かれました。

そして、第45回(1999・市川市民会館)では、『ハーモニー』をテーマとして、ビジュアル・テンポ・クオリティをコンセプトとした、さらに大胆な革新が行われました。

こうした流れの中で、第46回を担当する我々ホストクラブはかなりのプレッシャーを感じていたことは事実です。1999年6月には早くも次期CAB三役・大会三役予定者を中心とする予備会議が開かれ、新年度に入ると同時に、年次大会委員会(内局・大会三役・副委員長)が結成され、さらに、それぞれのスペシャリストを集めた、企画演出部会・映像部会・広報部会・会計部会が結成されました。

千葉市内LCは数クラブが合同でカンボジア小学校建設支援のチャリティコンサートを2回実施して成功させたのですが、このときの企画演出のメンバーが、そっくり企画演出部会・映像部会の構成員となりました。職業的にもメディアの先端に関わっているメンバーが数名おり、スタート

労も忘れ委員会メンバーの間には新たな友情と親密さを味わうまでになりました。また振り返りますと大会委員長の非力から、いろいろ不行き届きの点が多かったことを反省いたしております。

終わりに、先輩ライオンの暖かいアドバイス、そして幕張プリンスホテルの全面的なご協力に深く感謝申し上げます。

時からパワフルな活動を展開しました。

『友愛と奉仕で創ろう 明日の日本 子らのため』なるガバナースローガンの具象化と、ミレニアム(千年紀)を意識して、「MAKUHARI 2000」としたステージは、コーラスとダンス、最新の高性能プロジェクターによる鮮明な映像、そして各部門担当者の熱意により、完成度の高いイベントとなりました。

エンディングを飾った女性LCによるコーラスは、斬新なアイデアとテクノロジーが結実したものです。地域が離れており、多忙なメンバーが合同で練習することは不可能であり、そこで同じカラオケテープで別個に練習し、その成果を合同で録音し、さらに練習を重ねて当日に臨むという方法が案出されました。1999年11月23日、月島の録音スタジオに初めて3クラブが集結し、最新のシステムによるマルチ録音に挑戦したのです。スタジオには岡野ガバナーと高橋大会事務局次長も応援に駆けつけました。初めての顔合わせにもかかわらず、プロの録音技師がびっくりするほど見事なコーラスでした。

収録が成功裡に終わり、ガバナーを囲んで月島名物「もんじゃ焼き」のお店で打ち上げが行われました。せまい空間で、大勢が小さな鉄板を囲むというシチュエーションが、より親密感を盛り上げました。このとき、すでに大会大成功の予感があったようです。



地区年次大会の一翼を担って



地区年次大会事務局次長
L. 高橋輝男
(千葉LC)

今世紀を総括する年次大会なのか、21世紀を模索し、示唆するための年次大会なのか。

何れにしても地区年次大会は、その年度に行われたアクティビティをお互いに競い合い、認め合い、讃え合い、友情と信頼・団結と協力を誓い合い、より大きな活力と明日からの新たな前進のための意義あるお祭りの一種であるものと思われます。

今大会の幕張は、千葉県のほぼ中央部という地理的に恵まれた位置にあり、各地区からも来やすいこと、会場が設備の整ったホテルであること、などから大勢の参加者が見込まれましたので、これに如何に应运えて大会を有意義な実り多きものにすることができるのか。

即ち『スムーズな運営、満足感あふれる昼食、最後まで参加者を魅了させ引き付けられる充実した内容、世紀末の思い出として語られる感動多き斬新な大会』になることを目指し、5Rの10ホストクラブの副委員長（各クラブ会長）を始め、各クラブ選出のメンバーにより構成された企画委員会の面々は、L. 岡野ガバナーの基本方針やキャビネット役員の皆様のご指導・ご協力を仰ぎながら、数十回に及ぶ全体会議や各部会の打ち合わせ或いは諸々の調整を積み重ねながら、計画を練り上げ、本番での開花に向けて一つ一つ確認し



ながらの試行錯誤を繰り返しました。

大会が近づくにつれ、それを意識し、妥協を許さないプロ顔負けの根性に支えられたスタッフ一同は時間との戦いを余儀なくされました。

特に今回は、ホテルが会場のため臨時の舞台の設営や前日の夕方まで一部で結婚式が行われるという制約



条件の中での準備作業であり、また、リハーサルは前夜祭が終了した後の午後8時過ぎからでなければ始められないという状況の中であって、出演者、キャビネット関係者の協力、裏方の担当スタッフの情熱と熱気にホテル側の全面的な協力も加わり、時間の経つのも忘れ終了したのは午前0時を過ぎていました。

当日は、100名を越えるスタッフの一人ひとりがそれぞれの持ち場と役割の重要性を十分に認識し、臨機応変な対応と有機的な連携により大きな混乱もなく、受付開始から終了までほぼ予定どおり運ぶことができました。『友愛と奉仕で創ろう

明日の日本 子らのため』のガバナースローガンの下に開催された『MAKUHARI 2000』。

21世紀の主役である子供達と女性をコアに、映像と音楽による20世紀最後の333-C地区年次大会は、参加者の皆様方の高尚なライオニズムにより、21世紀を見据えながら静かに幕を降ろすことができました。絶大なるご協力とご支援に心より感謝申し上げます。



フラットなホテル会場のデメリットを感じさせない
機能的ですっきりしたステージづくりが印象的だった

MAKUHARI2000 で苦労したこと

「みんなの力が集まれば」

本当に良いものができる」



地区年次大会企画委員会

映像部会長

L. 阿佐 幸雄

(千葉幕張メッセ LC)

第46回年次大会はオープニングからエンディングまで数々の映像が300インチの大きなスクリーンを彩り、女性と子供の方々のパフォーマンスが大いに式典を盛り上げてくれました。

中でも、VTRで制作した「ビューティフル・ジャーニー」は地区内LCのACT映像が織り込まれていたのをご覧いただけたと思いますし、朝からロビーで放映していた「ビデオフェスティバル参加作品集」もお目に止まったことと思います。

あの映像は、映像部会が地区クラブに呼び掛けた、ビデオフェスティバルに応募した映像を編集したもので、お陰で、年次大会の大きな柱となり、ビジュアル化が大変スムーズに進展したのです。参加して下さった30クラブの皆様に改めてお礼を申し上げます。

実をいうと舞台の裏側にいた私は、5月末までどのような舞台が出来ていたのか知りませんでした。記念式典を編集し、いま改めて当日の興奮を感じなおしているところです。

MAKUHARI2000を構成した映像は、事前に作成したVTRと当日撮影したLIVE映像をスクリーンに映したのですが、私達映像部会の企画制作した映像も、素晴らしいビデオプロジェクターがあって始めて可能にしてくれたのです。今年春の映像関係の展示会で、あのプロジェクターを田畑Lが見つけたしくて本当に良かったと思います。

映像の善し悪しは、私のような門外漢でもはっきり分かりましたし、ご覧になった皆様もまるで映画館にいるような臨場感を味わって頂けたものと思います。

しかし、そこに辿り着くまでは、映像副部会長で制作担当の田畑Lと日々侃々諤々議論の毎日でありました。

10分間のVTR「ビューティフル・ジャーニー」



のために、田畑Lは昨年の6月から撮影に入りました。環境保全セミナー、サマーキャンプ、水辺のクリーン作戦、ガバナー公式訪問とカメラを担いで映像の収録を続けてくれました。

私達の企画の目玉に、地区LCのACTを広く集めて大会で皆さんに披露したい、というものがありました。

そこで前述のビデオフェスティバルとなったのですが、VTRに28LCが応募してくれたのですが、何とテープの総時間が1100分もなりました。田畑Lの努力で80数分間に編集することが出来ましたが、本当に大変な作業でした。(これが、ロビーで放映した映像です。)これをまた3分間に編集したものが式典で放映したものです。

大変な時間と労力を使った年次大会でありました。終わってホッとする間もなく、幕張メッセLC主催のウイーン合唱団コンサートがあり、やっと今ホッとしているところです。「みんなの力が集まれば本当に良いものができる」先日行った企画委員会の最後の会合である「年次大会ビデオ鑑賞会」を観たときの感想です。本当にみなさんご苦労さんでした。



プロジェクターとスクリーンによる映像演出により広い会場でも全ての参加者を飽きさせないムードづくりに成功した

心に焼き付いた第46回年次大会



地区PR情報副委員長
L. 波木 泰美
(千葉ゆうきのLC)

合唱団に参加して

始めにスローガンありき。

「友愛と奉仕で創ろう 明日の日本 子らのため」……第46回年次大会式典の企画は岡野ガバナーのスローガンをイメージ化することから始まった。

熱の入った式典運営企画会議が重ねられた。地球上の子供たちとその母たちの姿をメインテーマにしよう。

「青少年の弾むようなダンスと子供たちと女性のコーラスをオープニングとエンディングに」とイメージはますます膨らみ、次第に確かなプログラムとなって行った。

333-C地区内には3つの女性のライオンズクラブがその存在を光らせている。女性コーラスはその3クラブにお願いしようということになったのは言うまでもない。菊の花薫る11月、リジョンを越えて私たち女性ライオンズクラブメンバーは一堂に会した。練習する歌は「花」。最近の歌謡曲で沖縄の喜納昌吉氏の作詞作曲の歌である。

♪川は流れて どこどこ行くの……人も流れて
どこどこ行くの……

そんな流れがつくところには 花として花として
咲かせてあげたい……

十数回の練習で、弛々と川が流れるがごとく私たち60余名の歌声は一つにまとまり、優しく力強く美しく響きだした。あたかも大地に滋養を与える水のように。

実のところ私たち女性メンバーのコーラスは企画演出部長のL. 上野正剛や映像担当部長のL. 阿佐幸雄やL. 椎名益男の大きな声援に支えられて、信じられないような気持ちの良い仕上がりとなったのだ。彼らの期待を裏切らないためにも私たちは「MAKUHARI2000」の式典の日まで、例会の時間を割いて練習を重ねた。ビジュアルでスピーディーをモットーに式典のプログラムはすでにできあがっている。役員、会長たちの入場行進

も足音が弾むようなバックミュージックに決定している。私たちもなるべく舞台映えがしてそして統一のとれた衣装を考えよう。4月始め、3クラブの3役が集まり白いブラウスと黒のロングスカートにしようと決まった。ディズニーの小人を連想させるようなN.D.C.のカラフルな衣装と対照的でビジュアル的には成功したのではなかろうか。歌、「花」は私たちの思いどおりのお披露目となった。会場内のライオンたちの合唱があったかどうか、舞台の上からはライトがまぶしくて、その上晴れがましくて……よく判らなかった。それから私たちは「今日の日はさようなら」を会場一杯のライオンたちと手を振り合い、またの日の再開を心より願って歌った。



後日、大会式典の様子をビデオで見る機会があった。「感動的なフィナーレで素晴らしかった。」と式典終了後に私たちの功績もお褒めに預かったが、やはり出来栄えが気になった。

エンディングになったところで、N.D.C.の子供たちが私たち女性コーラスの前で手話ダンスを見事にしているではないか。我が目を疑いつつもN.D.C.の方々、タンポポ児童合唱団の方々に、私たちが伝えたい心が自然に伝わったのかしらとなんとも嬉しい気持ちを味わった。彼らとはリハーサルと本番だけの短い時間の触れ合いだったが、この地球上で悔いのない人生を送れるようにと願わずにはいられない。

コーラスの練習を通して親交を深めることが出来た女性の3ライオンズクラブ……岡野ガバナーを始め5リジョン内のライオンたちとこんなにも親しく会話が出来た。

私の心の中に喜びの種を残して第46回年次大会は終わった。

第46回地区年次大会に心打たれて



次期地区ガバナーエレクト
L. 木下 務
(船橋LC)

年次大会のフィナーレ 可愛い子どもたちに囲まれ、一緒に唄い、一緒に踊る。岡野地区ガバナーの笑顔、無邪気な子どもたちの歌声。これぞ“友愛と奉仕で創ろう 明日の日本 子らのため”のスローガン通りの演出に感動いたしました。

舞台に机、椅子もなく同じ目線という平等の立場での年次大会、また途中誰一人として帰る人もなく、最後まで楽しんだ年次大会、まったく無駄のない進行と簡素化の年次大会。

L. 御園生大会委員長、L. 臼井事務局長をはじめホストクラブの方々のご尽力に心から拍手を贈りたいと思います。

21世紀初の年次大会（第47回）は2001年4月30日（祝）に本年同様幕張プリンスホテルで開催する予定です。

船橋では、2000人位入る器がありません。第46回大会と同じ場所となりますが、地区の良き伝統を守り斬新のアイディアで有意義な大会となりますよう、工夫を凝らしてまいりたいと無い知恵を絞っております。

多数のご来場を賜りますよう、心からお待ち申し上げます。

今期、岡野ガバナーは最高のアクティビティである2つの新クラブを結成されました。また水辺



小西Lのガバナー紹介に負けぬさわやか名調子の
木下ガバナーエレクトのご挨拶



のクリーン作戦、日本網膜色素変性症協会の支援、そして青少年健全育成の一環としてカンボジアへ植樹と歴史探訪の旅へ。レオクラブのメンバー18人を引率、2月12日成田空港を出発、私も岡野ガバナーのお供で同行させて頂きました。カンボジアはプノンペン・オーバイコンLCの公式訪問、バクー小学校の全生徒、先生や村長さん、PTAの役員の方々が熱烈歓迎で迎えてくれました。式典の後、子どもたちと一緒に植樹、そしてアンコールトム、アンコールワットの見学と楽しい旅でした。

岡野ガバナーは、このような卓越した知識と指導力、意欲的な行動力で地区運営を遂行されまし



岡野ガバナー夫妻からガバナーズキーを伝達された
木下ガバナーエレクトと奥様

た。私は心底より敬服いたしております。

4月30日の準地区大会と5月28日の高崎市の複合地区年次大会に於いて皆様方の温かい推挙を賜り、ガバナーエレクトになりました。入場行進中もまた舞台上に上がっても「大向こう」からご声援を頂き、深い感銘を受けた年次大会だったと一生忘れることの出来ない思いです。

折々の出会いと、来年の年次大会でお逢い出来ることを心から楽しみに。

簡朴に徹して確かな一歩を



2000～2001年
地区幹事予定者
L. 小西 宗仁
(船橋LC)

一年の歩みは早い。自彊息まず、大局的見地に立たれ水火を辞せず力強い指導力を発揮されたL. 岡野地区ガバナーの任期も残り僅かとなりました。地区ガバナーは真心のライオンズマンであり、人を信ずることを誇りとされました。またキャビネット内局を担われたL. 桑田地区幹事、L. 塩澤地区会計はじめ各スタッフの陰徳に対して心から労いと敬意を呈します。

近時、ハワイ州ホノルルで開催される第83回国際大会開会式を以て地区ガバナーに就任が予定されるL. 木下務はL. 岡野地区ガバナーの奉仕の路標を風化させることなく継受し、更に推し進めることを先の準地区年次大会で高らかに宣明しました。

『意志有る処 道あり』昨今の景況の混迷の中で、簡朴に徹した地区運営を以て質の高いプログラムと心豊かな奉仕の展開を希う物であります。このL. 木下キャビネット内局を任とするスタッフとして、まず心することは“簡朴、寛恕を以て政りごとを為す”(後漢書)の教えの通り、ガバナーの基本理念を胸にガバナーの指導のもと簡朴に徹して運営事務を司り全メンバーに正しく伝播、伝達することに汗して参ります。



小西Lの木下次期地区ガバナーエレクト紹介は
講師師顔負けの名調子！会場の参加者を魅了した

不伝々の姿勢を以て

To Transmit the Untransmittable
(伝えられない物を伝える)

私達は日常のステップの中で人や社会に正しく広く伝播、伝達することの責任を担う者の、伝えることの難しさに戸惑い苦悩することもある。折々のトキメキの出会いの中で、相手の立場に立っての心遣いや視点を変えて考察して慎重に発進し伝播する心のゆとり欠落して、心ならずも誤解を招いたり曲解されるケースも生じよう。幸いライオンズの同志は口を開かずして瞬時に形のない魂や心情や意図を微笑の中で速やかに確実に伝播される心の豊かな土壌を共有する同根である。地区ガバナーの意志を正しく速やかに伝播できるように常に内局スタッフは黒子に徹し、行動はスニーカーの迅速さが求められよう。水は方円の器に随うが如く、この重責を担う私達7名のスタッフと3名の事務局は、簡朴な美学への追究と不伝々の心の具現化を求めて、今確かなる第一歩の踏み出しを希っている。(仁恕)

【記念誌がスリムになりました】

背広のポケットに入るスリムなサイズの記念誌・別冊資料。見やすい4色フルカラー化しても大幅な経費節減と紙資源節約の実現！！

今回の年次大会は昨年の市川東キャビネットの年次大会の映像による演出をさらに進めたので、大会式典中に記念誌を掲げる必要がありませんでした。それを見越して、記念誌もスリムアップ。

なんだか安っぽい！？という声も聞こえましたが、これまで登録して不参加の会員の分を持ち帰るのに大きくて重くて大変だった記念誌対策に一つの提案がなされました。



代議員分科会に出席して



5 R 地区 P R 情報委員
L. 野口 孝一
(市原南 L C)

B 分科会 P R 情報大会参加

年次大会に出席して特に感じたことを報告致します。

あの限られた時間でこれら大きな問題を議事として討議、決定することは無理なことと思いました。私たち員はあらかじめ委員会などで問題提起され説明や勉強をしていましたからある程度理解が出来ますが、今回初めて事前に議案集が届けられ、代議員が事前に検討し、代議員会に出席したとしても、説明を理解し納得して賛成した人は少



ないのでは
ないだろう
か。

インター
ネットの必
要性につい
て、吉原委
員長の熱心
な説明で大
筋は理解で
きたと思う
ので、次期
キャビネット
が折ある
毎にコン
ピューター

の活用について各単位クラブに浸透するよう推進を図ってもらいたいと思います。今後の問題点として年次大会提案議題は年度当初に立案し、クラブ訪問、諮問委員会など折ある毎に会員の声を聞き、年次大会の時は大多数の会員の理解ができた議案を提案できるよう努力してもらいたい。上意下達ではなく、単位クラブの意向が反映されるような年次大会にしてもらいたい。

クラブでの反省会で新入会員から今日の年次大会にどのような意義があるのだろうか。年次大会を中止したらそれだけの予算をカンボジアの学校建設にあてたら学校がいくつ出来るだろうか、と聞かれたときちょっと答えられませんでした。今後の年次大会についても再検討の時期に来ていると思いました。



新入会員・次期 T.T. オリエンテーション



1 R 地区 P R 情報委員
L. 野垣内 武志
(浦安シーサイド L C)

第 46 回年次大会の I 分科会として 4 月 30 日新入会員・次期 T.T. のためのオリエンテーションがありました（出席者約 80 名）。幸い、記録係として会場に出席し貴重なお話を聴く機会がありましたので、簡単に紹介させていただきます。

普通の会社では新入社員と重役と一緒に研修を

受けるという事はとても考えられないことだと思います。皆さん何の疑問も持たず研修を受けておられたのにはびっくりしました。しかし私は、小西 宗仁ライオンが講演の中で言われた「ライオンズクラブは権利と義務は平等であるが組織は縦社会である」と言われたのを聴き、ライオンは立場によってリーダーにもならなければならないし、フォロワーにもならなければならないという事かと納得した次第です。

最初の講演は 地区名誉顧問の 江畑耕作ライオンによる「ライオンズクラブの歴史とライオニズムについて」でした。

江畑先生の最大の心配事は、退会者が多いための会員減少であります。ライオニズムの素晴らしい精神を理解し、誇りを持っていれば退会はないは



ずであり、ライオンズクラブが本来の奉仕団体から親睦団体化している事に問題があるのではないかと考えておられます。ここに、我々がライオンズクラブの歴史を学ぶことの意義があり、歴史を学ぶことがライオンズクラブの未来への展望を可能としてくれるのだ、との前置きでライオンズクラブの歴史の概要をお話されました。

1916年のライオンズクラブ設立時、メルビン・ジョーンズの発想の原点は「道徳・倫理哲学」にあったこと。

333-C地区の誇りは、千葉県勝浦出身の黒川直也氏が1926年ハワイで白人以外で最初のライオンズクラブになり、その後天津にアジア第一号のライオンズクラブを結成されたことです。さらに、千葉ライオンズクラブがカンボジアにライオンズクラブを作った事も333-C地区の誇りです。

また、黒川直也氏は青少年交換学生（YE）プログラム成立以前からも、青少年学生交換の努力をしてこられた歴史もあり、333-C地区はYEに力を入れるとともに、YEとレオクラブを連携させ、是非レオクラブを作りましょうとの提案がありました。

ライオンズクラブで正式に女性会員が認められたのは1987年の第70回国際大会（台北）だとの事、これもアルビン・トフラー氏にライオンズクラブも女性会員が増えないと21世紀の発展はないと指摘されての事だそうです。333-C地区もクラブ活性化の為、出来るだけ女性会員を増やしましょうとの提案がありました。

ライオニズムの原点は倫理的人間性であり、地球上120万の動物のうち倫理を持っているのは人間のみ。倫理のものは 知性、愛、社会性である。知性とはリーダーシップであり、社会性とは民主主義である。これで抜けているのはメルビン・ジョーンズの言う、友愛である。もし私がライオンズクラブに入っていなかったら、医師会の権力争いにまきこまれていたかも知れない、ライオンズクラブに入ったお陰で色々な職業の人と知

り合いになれば、人のために尽くすことが自分の為にも役立つことを体験でき、奉仕の喜びも味わうことが出来たと感謝している。と最後は、ライオニズムの哲学と先生の体験で締めくくられました。

引き続き、地区運営特別委員・小西宗仁ライオンにより出席者への質問を交えながら「知性豊かなトキメキ例会の実現のために」とのテーマで講演がありました。

小西講師が茶道で体得した「礼三息」の基本、呼吸方法と目線のおき方を参加者全員で実習するところから講演が開始されました。

「随所作主」（一旦事があっても主たる事を失わない）の大切さ。

客として色々のクラブを訪問した経験から、例会で会長以下三役が会いを大切に考え入り口で客をもてなすクラブは強いこと。

「賓主互換」（今日は主役、今日は脇役）の大切さ。会長、幹事がいつも主役ではだめ。メンバーの中で今日はの方がすごいことをやったとか、主役としてステージに乗せるのがテーマ、又はT.T.の役目であること。

「ライオンズクラブは権利と義務は平等であるが組織は縦社会である」こと。

責任T.T.によりクラブのムードが変わってしまう事には responsibility（個人的責任）、accountability（説明義務）と obligation があり、accountability は公的な立場からの説明義務であり、リジョン・チェアマン、ゾーンチェアマンの責任は accountability であること。

obligation は指導的立場の人にとって大切な義務であり、ライオン個人の義務であること等、普段あまり深く考えていなかったことを改めて教えられました。

最後に、江畑先生からカーター大統領は大統領を辞めてからもクラブのT.T.をやった事があるとのこと。T.T.は会長より大事な職責であり、T.T.によりクラブのムードが変わってしまうのだとT.T.一同大いに励まされました。





クラブ活動のページ

今年度の各リジョンPR情報委員の皆さんは地区PR情報委員会と各クラブの橋渡し、クラブやゾーン、リジョンの活動に関する情報収集に全力で取り組んでくださいました。特に4Rの矢崎Lには、フィリピンとの少年交流サッカーや台湾大地震で貴重な資料や情報をいただき、また、1Rの野垣内（のがいと）Lと6Rの大嶋Lには地区のホームページ制作で数々のアドバイスをいただきました。

2R水野L、3R中村L、5R野口L、7R高橋L、8R竹内L、9R三浦L、10R山田Lのみなさんにも2ヶ月おきの編集会議に欠かさずご出席いただき、活発な意見交換、情報交換をすることができました。

とはいえ、それでも多くのクラブの数々の素晴らしい事業を掲載できなかったことも事実で来年度以降、更なる工夫で地区ニュースの意義を高めていただければと期待して止みません。

2 R

松戸LC

会長 L. 林 護

チャーターナイト 35周年感謝の集い

日時 平成12年4月8日

場所 松戸市市民会館

チャーターナイト35周年記念事業として、35年の永きに渡り地域の皆様と家族の皆様に支えられて、今日まで社会奉仕に邁進することが出来ましたことに感謝し、“感謝の心”をこめて【島倉千代子歌謡コンサート】を開催（無料）しました。地域でボランティア活動をされている方々も招待されました。当日は、会場一杯の熱気と和やかさにあふれ、参加された方々は楽しい一時を過ごされ



ました。帰りには「島倉さん、とてもステキで良かったですよ。」と喜んでチャリティー募金をして頂きました。（島倉千代子、ますます元気で活躍、我々も元気に活動したいものです）

続いて場所を変え、記念式典と祝宴を開催。会長は「35年の間に、松戸市民に親しまれ信頼されるクラブとして、地域にしっかりと根を張ることができました。多くのライオンが誕生し、奉仕活動を通じて市民参加の喜びを共感してまいりました。力と心を合わせることでさらなる発展を願い、地域に密着した奉仕活動を目指し精進してまいります。」と述べられました。地域の中のライオンズクラブ、との思いでおられました。

ガバナーは、地域内での奉仕と35年間に5クラブのエクステンションをされた事を称えられました。そして力を合わせ努力し、人の和を大切に将



来に向かって力強く前進して欲しいと、お祝いのおことばを述べられました。

記念事業として、

前記の感謝の集い、松戸市へ車椅子寄贈、足長育英金寄贈、アイバンク協会に助成、ストリート・ミュージシャンのフェスティバル協賛など。
(地区PR情報委員 L. 水野武明)



松戸中央LC

会長 L. 小堺 重保

サッカーフェスティバル

日時 平成12年2月11日
場所 松戸市運動公園



2月建国記念日に、松戸中央ライオンズクラブ(小堺重保会長)主催によるサッカーフェスタが開催されました。この日は柏レイソルの選手が子どもたちの指導をすとあって、松戸市内のサッカー少年・少女たち600人近くも松戸市運動公園に集結しました。4年生以上の子供たちはグラウンドで、3年生以下の子供は体育館の中で、それぞれ憧れのレイソルのお兄さんたちの話を聞いて一生懸命に練習していました。子供たちは「プロに教えてもらって嬉しい。ためになった」などと興奮した口調で話してくれました。

(朝日まつど新聞より抜粋)

シロザケ稚魚 2万 2000 匹放流

日時 平成12年2月25日
場所 江戸川河川敷

松戸市内の小中学生が3ヶ月間かけて育てたシロザケの稚魚22,000匹が25日、江戸川に放流された。大きな流れに放たれた稚魚は「元気でね」という子供たちの声にこたえるように、一生懸命に尾を振って海を目指した。

放流された稚魚は、松戸中央ライオンズクラブが昨年11月、市立の68の全小中学校に配った受精卵44,000の中からかえたもの。放流は毎年この時期に行っており、今回は18回目。

この日は、約50校の児童、生徒と教諭らが同市江戸川河川敷に集合。5cmほどに育った稚魚を紙コップやパケツですくって、別れを惜しみながらたおやかな流れに任せた。



関宿LC

会長 L. 後藤 裕亮

身体障害者・お年寄り招待第12回観桜会

日時 平成12年4月9日

場所 関宿町 無量寿院境内

4月9日(日)、恒例の関宿ライオンズクラブ「観桜会」が後藤会長宅(無量寿院)にて開催されました。

絶好のお天気に恵まれ、身体障害者の方、近隣の老人会などの方々を招待し、手話サークル【キャラの会】の皆様のご協力を得ながら宴が進みました。境内の見事な満開の桜、特にしだれ桜は



誰もが溜め息をつくほどの美しさ、そんな中盛況のうちに第12回観桜会を終了する事ができました。

(関宿LC幹事 L. 村松恒男)

【追記】

私も招待され、楽しい一日を過ごさせて戴きました。関宿LCが地域のボランティアグループの協力を得て、事業を実施している事に注目しておりました。当日も前記サークルの他に、太鼓とお神楽のサークルが協力しております。そして参加者全員が主役となって楽しめる企画で、ライオンズが陰から全体を支えていることに、アクティビティの一つの在り方を感じました。

(PR情報委員 L. 水野武明)

流山シニアLC・流山LC合同

流山シニアライオンズクラブ認証状伝達式

日時 平成12年4月19日

場所 さわやか県民プラザ

4月19日、柏市の県民プラザ大ホールにおいて、流山LCをスポンサーとして流山シニアLCの認証状伝達式が挙行され、地区ガバナーより厳かに認証状が会長に伝達されました。

地区ガバナーは緑萌える今日の良き日に、地区で117番目の認証状が伝達された喜びとお祝いを述べられ、沈滞を破るように後に続きCNを迎えるクラブがあることを話され喜んでおられました。



またライオンズクラブも変わらなければならない。伝統を破ることは困難であるが、新しいクラブの在り方を考え、周りのクラブで協力して欲しい、など有意義なご挨拶がありました。

スポンサークラブの流山LC、秋元会長より「今日よりラペルボタンを胸に、ライオンズとして誇りを持って活動して欲しい」と励ましの言葉。シニアLC後藤会長より「私共クラブ会員は、この感激と栄光の日を終生忘れることなく、広く地域社会に奉仕し、ライオンズ精神の研鑽に努め、ウィ・サーブの昂揚に邁進いたす所存でございます。」と心強い挨拶がありました。

25名メンバーでのスタートであります。メンバーの人生経験の豊かさが十分に発揮され、落ち度のない落ち着いた雰囲気での式典でありました。ガバナーのお話にあるようにこのCNを契機にライオンズクラブも変わって行くものと思います。今後のご活躍と楽しいクラブ活動を祈念申し上げます。



※さすがシニア、ほんとに憎らしい位間違いのない落ち着きのあるCNであったとの声あり

(PR情報委員長 L. 水野武明)

5 R

333-C地区合同チャリティゴルフコンペ

日時 平成12年4月17日

場所 市原ゴルフ柿の木台コース

岡野ガバナーの提唱により初めて開催された地区合同チャリティゴルフコンペが第5R斎藤RCを実行委員長に第5R3Zの方々のお骨折りと、地区内各地からのご協力により盛大に開催されま

した。

当日は快晴に恵まれプレイも順調に進行し、千葉LCから多数参加された女性プレイヤーの活躍が目立ち上位に多数入賞されました。

賞品は全て地区内LCやキャビネット役員からの寄付でまかなわれ、少しでも多くチャリティ資金を残そうと役員の大変な努力がありました。おかげさまで初期の目的が達成されガバナーも大変喜んでおられました。

千葉幕張メッセLC

会長 L. 砂川 稔

ウィーン少年合唱団チャリティコンサート

日時 平成12年5月4日

場所 千葉県文化会館大ホール

網膜色素変性症を研究する団体に寄付するため、ウィーン少年合唱団コンサートが千葉県幕張メッセライオンズクラブの主催で1700人の観客を集め、千葉文化会館に於いて盛大に開催されました。

岡野ガバナーを始め5R各クラブの会員も多数出席しました。千葉幕張メッセライオンズクラブの皆さんは、早朝より準備にかかり、開場の折には会員である臼井法務大臣も入場者の受付に活



躍されておりました。この収益金は網膜色素変性症を研究する団体や研究者に寄付されるそうです。今後の研究によりこの難病が克服されることを祈ります。

市原南・市原東LC

第5回市原南・市原東ライオンズ杯 少年サッカー大会

日時 平成12年3月25日

場所 市原市立戸田小学校校庭

第5回を迎えた市原南・市原東ライオンズ杯少年サッカー大会は快晴に恵まれ、8チームの代表選手たちは父兄の大きな声援の中一生懸命戦いました。青少年健全育成事業として両クラブ合同アクトとして推進しているこのサッカー大会優勝が、このチビっ子たちの大きな目標となり回を重ねる毎に選手達の技術の向上が見られ嬉しく思います。



両クラブのメンバーも準備や後片付けのため大勢参加し、終了後の反省会も盛り上がり大いに親睦も深めた事業でした。

6 R

四街道中央LC

会長 L. 平松 修実

夏の奉仕活動を目指す

四街道中央ライオンズクラブ結成式を挙行

輝かしい2000年を記念して333-C地区に新しいライオンズクラブが誕生しました。県下118番目の四街道中央ライオンズクラブです。

昨年末より「奉仕の拡大を図るためには四街道市にもうひとつのライオンズクラブを結成させること」というスポンサークラブの四街道ライオンズクラブの呼びかけに対して平松修実会長以下38名で結成された四街道中央LCは平成12年2月26日地元四街道文化センターで来賓四街道市長中台良夫様始め地区ガバナー岡野 正義L、ブラウザクラブら100余命見守る中厳粛に結成式を挙行いたしました。

新会長は「私たちはこれから歩き始めるよちよちライオンですがいつの日か親に並び新たなクラブを産み育てるべく奉仕活動を重ねてまいりますと決意を述べました。

またガイディングライオンを務めていただく四街道ライオンズクラブの林和意ライオンは「このクラブは20代から60代まで幅広い年齢層で構成



され、会費の妥当性、例会運営の方法、Internetの活用など数々の特徴をも知事もとに密着した奉仕活動をするクラブとしてスタートしました。

21世紀に向けて真の奉仕活動を目指すクラブにするために最大限の努力をしたい」の挨拶がありました。こうして 第1部、第2部式典 第3部の祝典も無事終了しました。

なお認証状伝達式は6月4日に予定しております。関係クラブの応援とご支援をお願いします。

四街道中央ライオンズクラブ

幹事 L. 山崎 英企実

7 R・親善ゴルフ大会

7 R・RC L. 柏熊庄一

桜花爛漫の4月12日、恒例の7 R・親善ゴルフ大会を、習志野カントリークラブ、空港コースで実施した。

当日は、気温が20度を上回り、初夏を思わせる絶好のゴルフ日和であった。

登録メンバーは118名で、out、inに分かれて、7時32分にスタートし、午後3時30分に終了した。

4時から閉会式に移り、RCの挨拶のあと成績

発表、表彰、懇親会と続き、和気あいあいのうちに閉会となった。

その間、17クラブ118名のメンバーはクラブ、ゾーンの垣根を取り払って交流を深め、楽しいひとときを過ごすことができた。

近年、会員増強が叫ばれているが、7 Rは実質19名の増となった。これも、親善、親睦を意図したこのような行事が、その一要因になるのではないかとこの感想を抱いた。

(地区PR情報委員
L. 高橋 瑛)



7 R-3 Z合同

【受賞者一覧】

何れがヒバリかうグイスか

親善カラオケ大会で自慢ののどを披露

鳴海耕一先生（ピクチャーエンタテインメント・サウンドパーク）に審査員をお願いし、7 R-3 Z恒例の親善カラオケ大会を、旭市グランデフェスタメイン会場で開催した。

舞台に立ったのは各クラブ代表メンバー並びにレディース28人で、日ごろ精進した練習の成果を、精一杯発揮し熱唱された。会場を埋めた観客も自慢の歌声に聞き惚れ、盛大な拍手と声援でこたえた。

ゲストとして参加して下さったRC柏熊ライオン並びに地区PR情報委員高橋ライオン。昨年の優勝者増田修平ライオン（干潟）にも特別出演をお願いし、大会に華を添えていただいた。

今回クラブメンバーの慶事と重なり、やむを得ず欠場された銚子ウェストポートLCの皆さんは、恐らく慶事祝宴の席でご自慢ののどご披露がなされたのではないかと察している。

審査結果の発表、表彰がなされ、最後に鳴海先生の歌唱に演歌の楽しさを満喫した。

(Z C・L. 古橋謙壽)

Z C賞

林政子（山田町）「秋田長持ち唄」

担当幹事賞

片山恭平（旭）「伊豆の雨」

特別歌唱賞

渡辺弘子（山田町）ロシア民謡「ともしび」

旭LC会長賞

杉崎久（干潟）「男はつらいよ」

君塚正春（海上）「女の一人酒」

飯岡LC会長賞

石毛健一（飯岡）「無法松の一生」

浪川幸男（海上）「おんな船頭唄」

山田町LC会長賞

平野陽一（飯岡）「心凍らせて」

加瀬良雄（旭）「花冷え」

海上LC会長賞

菅佐原莊平（干潟）「雪国」

鈴木教道（旭）「女のきもち」

銚子W.P.会長賞

花香勝久（干潟）「柿ノ木坂の家」

清水幸男（飯岡）「柿ノ木坂の家」

干潟LC会長賞

伊橋孝章（海上）「傷だらけの人生」

加瀬達郎（飯岡）「百万本のバラ」

最優秀クラブ賞 山田町ライオンズクラブ

袖ヶ浦LC

会長 L. 齊藤 裕

第5回そでがうら桜祭り

第5回桜見まつりが平成12年4月2日に袖ヶ浦市民会館前のライオンズの森にて行われました。袖ヶ浦ライオンズクラブ20周年記念事業のアクティビティで植樹された幼木が14年を経過して美しい花を咲かせるようになりました。

今年は開花の時期に天候不順の日が多く当日は満開とはならず、少し早いと思われましたが、当日の天気は快晴になりお花見には最高の良い日になりました。

同時にその日は少年サッカー大会も行われて数多くの熱戦が繰り広げられました。大勢の市民やブラザークラブのメンバーが駆けつけて頂き盛大な桜見まつりになりました。

毎年、桜の咲く時期がやってくると市民の皆さんが楽しみに待っていてくれるような桜見まつりになっていくことでしょう。

わがクラブは今後もこのようなACTを継続していく方針です。

(袖ヶ浦LC L. 佐藤 重兼)



ライオンズ文庫を市内小中学校へ寄贈

豊かな心と自ら学ぶ児童生徒の育成に役立ててほしいと願いを込め、袖ヶ浦ライオンズクラブ(斉藤裕会長)から、市内の小中学校の13校に対して、毎年4校ずつ各小中学校に図書を寄贈しました。

今年は昭和中学校、蔵波中学校、長浦小学校、根形小学校の4校で併せて蔵書印と文庫プレートも寄贈させていただきました。

袖ヶ浦市は、教育重点施策の中に「読書教育の推進」を掲げ、これまでも読書指導員の配置、図書流通システムの導入を行い、各小中学校で読書教育の推進に力を入れています。今度のライオンズ文庫も、読書教育の推進のために活用していただけるものと考えています。

※以上アクティビティが新千葉新聞に掲載されました。
(下囲み記事)

豊かな心の児童生徒育成に
市内13小中学校に毎年4校ずつ各5万円
袖ヶ浦LC ライオンズ文庫寄贈

袖ヶ浦ライオンズクラブ(斉藤裕会長)は、豊かな心と自ら学ぶ児童生徒の育成をバックアップしようと、市内の小中学校にライオンズ文庫を寄贈することになり、5日、鈴木庸夫会長が三上雄亮教育長を訪ねて蔵書印と文庫プレートを手渡した。

これは3年前まで実施していた、児童生徒の活動を奨励していたライオンズクラブ表彰に取って代わる新たな取り組み。文庫支援金は年20万円で、分校を含む市内の小中13校に対して、毎年4校ずつ各校5万円を贈ることにしており、今年度の寄贈校は昭和中、蔵波中、長浦小、根形小の4校。各校に必要な本を選び、5月中にも本が届く予定。

同市は中央図書館を軸にした社会教育拠点5館を整備充実させるなかで、児童生徒の心を育む読書の推進と、

児童生徒の調べ学習、教員の教科資料準備をサポートする読書指導員を、平成7年度を皮切りに全小中学校に配置。さらに9年度には中央図書館はもとより、学校間で必要図書を相互に貸借する図書流通システムも構築して、昨年度は毎週一回、年43回の物流システムにおいて中央図書館との間で12,444冊、学校間で3,029冊、計15,473冊の図書資料が宅配されている。また今年度は新たに学校で整備されているインターネットでの図書検索システムも稼働を始めており、更に蔵書の活用幅が広がると期待されている。

こうした一連の取り組みは、郷土の未来を担う人づくりを理念としたもの。図書の充実には、平成3年の市制施行を機会に当初3年間は全校に100万円、6年度より年間980万円を予算化して各校へ70～100万円を注ぎ、各校ともバーコード管理図書だけでも7,000～8,000冊の蔵書を誇り、新たなライオンズクラブ支援により、更に教育ベースが充実する。

(新千葉新聞記事)

君津LC・LS・LEO合同

合同でフリーマーケットに参加

日時 平成11年10月24日
場所 君津市民文化ホール

10月24日(日)君津市主催「クリーンシティフォーラム in 君津'99」(環境美化とごみ処理問題について考えよう)をスローガンに君津文化ホールに於いて開催されました。

君津市よりLCにフリーマーケットの依頼があり、16店以上の出店協力を頂きました。

LC、LS、LEO合同でLCのPRとバザー、焼きそばの販売をしました。



君津市ではポイ捨て条例が設けられております。環境美化運動は私たち市民の切なる希望の一つです。

9 R

館山LC

会長 L. 石井 実

踊る銀鱗に歓声

ひかりの子学園 子供らが地引き網

館山ライオンズクラブ(石井実会長)は14日、同市州宮のひかりの子学園の子供たち33人を招いて地引き網の体験を行った。館山市の那古海岸で午前10時から、保護者や関係者など100人近くが集まり網を引いた。網の中にはスズキやアジ、イワシなど魚がたくさんかかり、子どもたちは歓声を上げて喜んでいました。

同クラブの地引き網体験は、この時期に開いており、3回目。30分ほどで引き上げた網の中には、スズキなど魚がゴッソリ。活きが良く跳ね踊っていた。子どもたちは、素手で魚をつかみ捕り、樽の中へ。

取れたての魚は、すぐ浜辺で同クラブ員の板前さんにおろしてもらい、刺身にして昼食に。焼きそばも鉄板で焼いて、おにぎりや厚焼き卵、フ



ルーツなどと一緒に、海辺で旬の魚を楽しく食べました。

参加した小学一年の女の子は、「はじめ魚がこわかったけど、つかめた」とニコリ。

(房日新聞 5月16日号より転載)



上総一宮LC

会長 L. 斎藤 有芳

薬物乱用防止教室開催

今年度岡野地区ガバナーの重点項目の一つである薬物乱用防止啓蒙運動の薬物乱用防止教育講師に認定証が発行された翌日に第一回目の教室を開催致しました。

5月13日AM9:00よりAM10:30長生村立高根小学校に於いて参加数5年生31名、6年生33名、父兄33名、計101名。

教室を終了して教員および父兄の皆様より大変喜ばれました。



今後も地元、一宮町、睦沢町、長生村の各小学校、中学校へ順次開催する予定です。

(L. 中川 都弘)

茂原長生LC

会長 L. 斎藤 正幸

1981年以来毎年継続実施している長生郡市中学校柔剣道大会が茂原長生ライオンズクラブ主催、後援長生郡市小中学校体育連盟で本年も茂原市体育会館で5月14日(日曜)開催されました。

次世代を担う地域の青少年健全育成の為企画開催されるもので、今回で第21回大会です。柔道、剣道の団体優勝校には、茂原長生ライオンズ旗、個人勝者1、2、3位にはそれぞれ金、銀、銅メダルの授与が行われます。年々回を追うごとに内容も充実。今回も参加校、選手共に増加し

(柔道)	男子11校	選手76名
	女子4校	選手16名
(剣道)	男子11校	選手44名
	女子10校	選手39名

尚、全校生徒数百名の応援を得て大変盛大に実施されました。

本年は、茂原市長も馳せ参じ激励の挨拶も行いました。



尚、先生方との競技の打合せ会等でわかった事ですが、第1回第2回の大会で選手で出場された生徒が現在柔道、剣道の担任教師として指導に当られ出席されて居りますので大変懐かしく語り合いました。

当クラブの青少年健全育成のアクティビティーは、規模として県内118クラブ中の最高のものである事を自負し今後も更に充実した大会を継続する事をクラブ全員が励みにしております。

(茂原長生LCクラブ幹事 L. 中西 康夫)

長柄LC

会長 L. 廻谷正史

長柄ダム周辺のクリーン作戦の処理について

岡野ガバナーの提唱する「水辺のクリーン作戦」に呼応して4月6日、長柄ダム周辺の廃棄物の処理を行った。

昨年10月に続き第2回目の作業である。

午前8時30分、会員はそれぞれ手袋、ゴミばさみを持参して強風下の作業になった。長柄ダムの周辺には既に約2000本の桜が植樹されていて、近い将来花見の名所になると思われるので、環境を守るため今後一層の活動が望まれる。

昨年は坂を降りると右側の方から始めたが、今年も右側から作業を始めることにした。溝の中までビニールで包んだ物や、空き缶、空き瓶、紙屑などぎっしりと詰まっていた。これらをビニール袋に入れる。一杯になると縛って道路わきに立てかけた。溝の方は片付いたので鉄柵の外へ出ることにした。水辺まで碎石を敷いてあるので実に歩きづらい。その碎石の間にも空き缶、空き瓶、一升瓶まで放置されてあった。

まあ、なんと公德心のない人たちだろうと口には出さないが、これらの物を処理するのが私たちの仕事なんだから文句も言えない。幹事の話ではビニール袋を20枚持参したそうだが各人の袋はかなり膨らんでいた。

一杯になったのは括って道路の柵の所へ置いてあった。頃合いを見て休憩する。

この休憩中に改めて眺めるこのダムの広さに驚く。この水が南房館山の方まで伸びて人々の飲料水になっているという。

坂の下部から上の方へ眼を転じると、確か坂の傾斜は約30度位だったか、その坂の斜面に桜の若木が整然として植えられ倒れるのを防ぐために添え木がしてあった。

桜は八重桜だ、しかも皆七分咲くらいと思われる。とてもきれいだった。これが葉桜になったとき、ダムの水と調和して素晴らしいだろうなあと考えた。

道路の方では、ハチマキをした若い人が駆けている。また家族連れで散歩しているのが眼に映る。会員の話題は有珠山爆発のことや、このダムの周辺に大店舗が出来ると言うことなどが話題になっ



ていた。

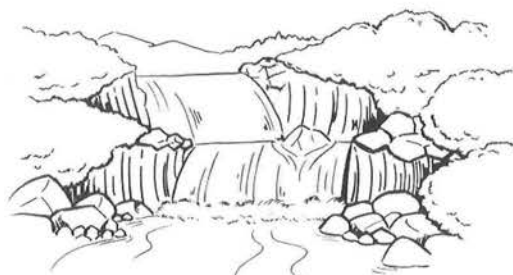
さあ、いま一息頑張りましょうと言って仕事に取りかかる。通りの鉄柵の所へだいぶビニールの袋が並んでいた。

この道路の端の方へ紙屑箱一個とはいかにも少ない。今日の清掃の状況からして三個ぐらい必要だと思う。この点関係者の方へご配慮をお願いしたいと思った。

さて、会員も疲れたらしいようなので最後の仕事として、ビニール袋を一カ所に集めた。そこで、空き缶、空き瓶、他に屑物類の分類をして、それぞれビニール袋に詰めてぎっしりと結んでもらう。全員でやるので能率は上がった。作業も完了したので事務所へ連絡、すぐにトラックを運転してきてくれた。運転手の方がビニールで結んであった荷物を見て、こんなにたくさん大変でしたね、お疲れさまでした。と言ってくれた。

会長の私からも、今日は朝からお疲れさまでした。ありがとうございました。

食事はこの近くである三役のお一人である方が私の所で準備してありますからと言って下さったので、遠慮なくお言葉に甘えることにいたしました。



ライオネスコーナー

流山ライオネスクラブ

会長 L S. 木崎 裕佳

フラワーアレンジメント基礎講座

日時 平成 12 年 2 月 20 日

場所 流山文化会館

2 月 20 日、市民との親睦を図る目的の文化活動として「フラワーアレンジメント」基礎講座を開催しました。市広報にて募集し、51 名の参加者がありました。

参加者の声は「とても楽しかった」「今度いつあるの?」「また、ぜひ参加したい」「継続して下さい」等々でした。主催者として、皆様に喜んでいただき、とても幸せな一日でした。今後も地域社会の奉仕活動に精進して行くよう頑張ります。



2 R 地区 P R 情報委員、水野武明より流山ライオネスの活動内容についてのコラムを頂きました。

P R 情報委員として感じたこと

2 R 地区 P R 情報委員 L. 水野武明

今まで私があまり知らなかった流山ライオネスクラブの活動について、取材しました。特記すべきこととして、特別養護老人ホームでのボランティア活動が、毎月継続的で時間数が多く、そして多方面にわたる奉仕（食事介護、買物手伝、床掃除等）であることです。その他にも心身障害児のクリスマス会、餅搗きのお手伝いなど多くの労力アクトがあります。本当の意味での社会奉仕ではないかと思い、考えを新たにしました（実感：ネスクラブってなかなかやるものですね）また、せっかく良いアクトをしていながら今期地区ニュースに投稿のなかったクラブがあった事が心残りであります。次期に期待いたします。

R C と P R 情報委員長より P R 情報委員として専任するように言われ、リジョン内外の情報収集に努めようと試みました。その情報が、キャビネット、リジョンに反映されなければ役務を果たしたと申せません。結果は、満足できるものではなかったと反省いたしております。一方キャビネットや R C ・ Z C からの情報が、各クラブ

メンバーに正しく伝わっていなかったり、理解されていない部分があったことも目につきました。情報は正しく伝わり、生かされてこそ意義があります。今回の役務を通じ、ライオンズクラブの活動を改めて見直す機会がありました事に感謝申し上げます。



特別養護老人ホーム（リバーパレス）毎月第 3 水曜日、4 人 1 組で食事介助に、お掃除に気持ちよい汗を流しています。

君津ライオネスクラブ

会長 L S. 木村 郁子

特別養護老人ホーム中郷記念館慰問

日時 平成 11 年 11 月 21 日

場所 中郷記念館

11月21日(日)木更津市に有る特別養護老人ホーム、中郷記念館へ慰問に行ってきました。風は少し冷たかったですが晴天に恵まれた中、屋外のロータリー広場で文化祭のイベントの一つとして参加致しました。

数々の催しがあるなか、私たちLSCはピアノ演奏LS会長・木村、歌指導・LS松本良子のもとで何回もの練習を重ね、全6曲を披露してまいりました。最初の4曲(花・紅葉・里の秋・野ば



ら)は二部合唱し、後の2曲(赤とんぼ、ふるさと)は舞台から降りて老人ホームの皆様と一緒に合唱いたしました。歌を歌っている時のお年寄りの方々は昔帰りしたかの様に楽しそうな顔で歌っておられ、何か小さな幸せを感じました。

君津ふれあい館まつり

日時 平成 11 年 11 月 6 日

場所 君津市保険福祉センター

手を広げ、つないでいこう健康福祉の輪。

よく晴れた11月6日(土)保険福祉センターふれあい館が出来て初めての「ふれあい館祭り」が開催された。健康づくりコーナー、ふれあいコーナー等々盛りだくさんのコーナーを設け、訪れた人たちは健康相談に、バザーに、模擬店にと楽しい一日を過ごしていました。



ライオネスクラブではふれあいコーナーに於いてみそ汁の無料配布をしました。昼食時には行列が出来、皆さんとても美味しいと喜んで頂き、600食分の材料も不足気味で大変盛況の内に終わりました。



物 故 会 員 を 偲 ぶ



浦安ライオンズクラブ前会長 故 醍醐重盛ライオンを偲んで

醍醐重盛ライオンの訃報、信じたくない。春は名のみ、3月6日に春風に誘われるように、爽やかな余韻を残して、帰らぬ人となってしまいました。その急逝が惜しまれてなりません。重盛ライオンは、私にとって特別な位置にいた人でした。

浦安ライオンズクラブ前27代会長、私は幹事という立場でお付合いを戴きました。彼の性格は思い込んだらとことん突き進む、信念の持ち主であるが、反面他人に対してもおごらず高ぶらず、相手への気配りを忘れずに接する、寛容の精神の持ち主でした。彼を語るに、どんな言葉を持っても形容しがたいのですが、一例として、浅田次郎の小説が好きで、その一つに、ともすれば現代人が忘れ去った、粋でシャイで、それでいて実に男っぽい「ぼっぼや鉄道員」の主人公のような生き方に、彼自身が重なって、彼の暖かい人柄が伺えます。去年の11月に体調を崩して入院し、病床の中から、次期のクラブ役員の心配をし、お見舞いに行く度に「必ず良くなって仕事、クラブの活動に復帰するから」と言っていました。元ガバナーの故飯塚一郎ライオンがご挨拶の中でいつもおっしゃって居りました、何々をして良かった

という言葉「この世に生を受けて」「この日本に生まれて」「ライオンズクラブに入会できて」「大勢のメンバーの方々と知り合えて」その他良かったという言葉、いくらでも自分自身の心の持ち方次第で思うことが出来ます。私はこの暖かい言葉が好きです。

決して長かったお付合いとは言えませんでした。多くの事を教えて戴き、私のこれからの人生に大きく影響する事でしょう。この人と知り合えて、心底本当に良かったと思って居ります。重盛ライオン有難う御座いました。もう独特の響きのある「夜霧よ今夜も有難う」の歌も聞かれません。良い男が逝ってしまいました。

合掌。

(第三副会長 L. 阿部 修)





物故ライオン御芳名

年 月 日	御 芳 名	所属ライオンズクラブ	R & Z
2000年3月16日	L . 木 内 泰 平	山 田 町	7 R ・ 3 Z
〃 3月30日	L . 青 山 政 雄	館 山	9 R ・ 1 Z
〃 4月 2日	L . 山 崎 三 也	柏 中 央	3 R ・ 2 Z
〃 4月27日	L . 麻 生 義 隆	茂 原	10 R ・ 1 Z
〃 4月27日	L . 影 山 隆	木 更 津	8 R ・ 1 Z
〃 5月 1日	L . 鎌 形 浩 一	山 田 町	7 R ・ 3 Z
〃 5月14日	L . 押 尾 重 男	総 武 中 央	7 R ・ 2 Z
〃 5月17日	L . 若 林 操	松 戸 中 央	2 R ・ 1 Z
〃 5月17日	L . 鈴 木 啓 司	松 戸 中 央	2 R ・ 1 Z
〃 5月31日	L . 有 田 一 雄	松 戸	2 R ・ 1 Z

謹んで皆様のご冥福をお祈りいたします

1999 - 2000 年度



地区運営特別検討委員会

今年度地区ニュース第1号32ページに紹介した小泉昭地区名誉顧問を委員長とする地区運営特別検討委員会から一年間の検討結果を答申書にまとめ、岡野正義ガバナーに提出した。数多くのテーマの中で地区年次大会、特に複合地区年次大会などに関する検討は今年度時間切れで出来なかったが、多くの一般会員が感じているであろう「こうすればいいのに」を拾い集め、検討に検討を重ねた答申案は、意義深い内容にまとめられている。

答申書の内容もさることながら、そこへたどり着くまでに重ねられた議論、討論の過程で委員会メンバーが得た経験は必ずや次代のC地区運営に活かされていくものと確信する。

答申書を受領して



地区ガバナー
L. 岡野正義 (千葉LC)

青少年の問題、環境問題、等々21世紀に於いても奉仕活動の必要性はますます高まるものと思われ、事実、奉仕団体の活動は益々活発となって来て居り、奉仕をモットーとするライオンズクラブ活動の重要性もますます増大しているものと思われます。

また、日本にライオンズクラブが誕生して以来50年近くになろうとして居り、諸先輩の努力により素晴らしい発展を遂げて参りましたが、その間、日本の社会も、情報化社会、高齢化社会、女性の社会進出、若者の意識の変化、経済的には世界的な競争の激化、金利水準の低下、等々大きく変化してきて居り、ライオンズクラブの運営の在り方についても、このような社会の変化に対応して改善を図るべき点がないかどうか、真剣に検討すべき時期に来ているのではないのでしょうか。

そこで今年度は地区運営特別検討委員会を設け、キャビネット構成員の中から11名の方に委員となって頂き、地区運営の在り方についてご検討頂くこととし、特に、コンピューターの活用、女性の会員の増強とシニアLCの結成支援の在り方、地区運営の合理化、の3点について答申して頂くことと致しました。

小泉名誉顧問を中心に委員の方々は夫々が大変お忙しい方々であるにもかかわらず熱心な討議を重ねて下さり、素晴らしい答申を頂戴する運びとなったのは誠に喜ばしく感激を致して居ります。次期は木下地区ガバナーのご指導の下に、答申の内容をより具体化することに努め、英断を以て是を実践をして行くことが、21世紀に於いても当地区の発展を可能とする唯一の道であると思っております。

委員の皆様のご努力に今一度心からの感謝を申し上げ、今後答申内容の実現に努力して参ることをお誓いし、ご挨拶と致します。



答 申 書 (2000年5月11日)



地区運営検討委員会委員長／地区名誉顧問
L. 小泉 昭
(船橋LC)

当委員会は地区改革構想の一環として岡野ガバナーの提唱により設置され、本年度第一回キャビネット会議において任命された11名により構成されると共に、私が委員長に指名されました。又、発足に際し、岡野ガバナーより次の項目について諮問がありました。

【ガバナーから委員会への諮問事項】

1. ライオンズクラブ及び地区運営のためのコンピューターの活用のあり方について
2. ライオンズクラブに女性会員を増加させるため、並びにシニアクラブ結成を支援するための施策について
3. ライオンズクラブ、及び地区運営のあり方、特に費用負担の合理化について

当特別委員会は、上記事項に関し、1999年8月2日開催の第一回会議以降2000年4月26日の第七回会議迄、別途並行開催の専門分科会を含め数多くの会議を重ね、精力的に調査研究を行いました。

項目別にその研究内容につきご報告致します。

委員長	L. 小泉 昭 (船橋LC) 地区名誉顧問	委員	L. 小山 一路 (千葉若潮LC) 地区総務委員長
副委員長	L. 後藤 隆一 (柏中央LC) 地区長期計画指導力育成委員長	委員	L. 吉原 稔貴 (市川LC) 地区PR情報委員長
委員	L. 木下 務 (船橋LC) 副地区ガバナー	委員	L. 正木 守 (君津LC) 地区YE副委員長
委員	L. 箕輪 信治 (松戸東LC) 2Rリジョンチュアマン	委員	L. 塚田 雅二 (佐倉LC) 地区運営特別委員
委員	L. 斉藤 義雄 (市原南LC) 5Rリジョンチュアマン	委員	L. 植村 力子 (柏なの花LC) 地区運営特別委員
委員	L. 菅原 明 (茂原長生LC) 10Rリジョンチュアマン		

第1項 コンピューターの活用及びインターネット等のメディア対応について

国際協会からの要請もあり、333-C地区の運営委員会の一つとして、「地区インターネット委員会」の設置を早急に検討すべきであり、このことを前提に以下提案致します。

地区インターネット委員会は速やかに電子メールのアドレス取得、地区ホームページ立ち上げ、他の準地区・複合地区とのホームページのリンク

等をすすめる。

地区インターネット委員会は早急にキャビネット事務局電話回線のデジタル化、コンピューター端末への接続、必要なソフトウェアのインストール、プロバイダー契約、ホームページ管理委託契約などの環境整備を行う。

地区インターネット委員会は、地区PR委員会に所属する。

地区インターネット委員会は、近い将来各単位クラブに於いても、コンピューターの活用（メー

ルの利用等）を開始する時機が到来することを見越し、情報提供等を含む協力態勢を強化する。

第2項 女性会員の増強、及びシニアクラブ結成支援について

シニアクラブ結成支援検討会をスタートさせ、全国シニアLCからのアンケート調査、C地区LCの調査結果などから深く追求していくほど、シニアクラブ結成支援、女性会員の増強という表面的問題ではなく、LCそのものの新しい時代に対応すべき抜本的問題が生じていることを確認し、従ってその問題に対する具体的方針として、今回の答申事項とした。

1. 新時代に対応した、下記方針に則るライオンズクラブの結成と育成を推進することが望ましい。

- 1) 地域の人々と協力しながら、地域・国内そして世界の人々への奉仕事業を核とするクラブ
- 2) 長期的展望に立ち、質素で無理のないスリムな経費設定をしたクラブ。
- 3) 無理な金銭奉仕や、対外的交際を行わない奉仕事業を中心としたクラブ。
- 4) 全てにおいて平等の精神を基本とし、老若男女を問わず誰もが参加しやすい門戸の広いクラブ。
- 5) 男女の性差別無く会則上の問題点を認識し、柔軟な姿勢で会員増強を図るクラブ。

2. 具体的運営内容については、下記各項目に留意し、合理化を推進することが望ましい。

1) 単位クラブの課題

- 入会金……三万円程度で済まないか
- 年会費……六万円程度で済まないか
- 食費は千円以下でその都度徴収する方法
- 理事会は例会の二時間程度前に行う方法
- 例会会場費～無料（公民館等）
- 他クラブとの金銭的負担のかかる交際は、極力行わないようにする

2) リジョン・ゾーン内の課題

- リジョン費・ゾーン費の検討
- ガバナー公式訪問費用の検討
- 諮問委員会の会費の検討
- 各クラブ周年事業の簡素化を図り、登録量の負担軽減を検討

3) キャビネットに於いて検討

- E X Tをしたクラブだけではなく、E X Tをされたクラブに対しても結成時の支援金を予算化する
- 経費のスリム化を図ったクラブを考慮し地区内ライオンズクラブ全体に対し、地区費その他の提出に際し無理が生じないように考慮する。

第3項 ライオンズクラブ、及び地区運営の活性化・合理化について

本項目については、社会情勢の変動にともない、ライオンズクラブ組織のリストラクチャリングを含む合理化問題が中心的な議論を呼ぶ結果になった。所謂地区運営の簡素化、制度の見直しと統廃合等々、多岐に亘ることとなり、今回は当面課題とすべき内容に絞り検討の末、下記諸項目につき答申事項とした。

1. 地区資（基）金制度の扱いについて

本件については、元来C A B構成員はもとより、地区内単位クラブの多くのメンバーより、その合理性に関する疑問や意見が寄せられており、特に「地区A C T資金」と「千葉県青少年育成基金」についてはその位置付けと運用制度を見直し、納得

のいく統一見解を答申すべく議論を重ねてきた。各々の設立の背景には歴史的ともいえる諸事情が存在する為、個々の設立意図と目論見を振り返りつつ慎重なる検討を加え、以下の答申案を提示するに至る。

「地区A C T資金」「千葉県青少年育成基金」「地区災害緊急援助資金」を統合一本化し、その運用をC A Bから明確に独立した組織にてとり行う。

運用組織構成については、組織自体の独立性が尊重されるべきであり、公正公平を旨とし、組織の硬直を避けるべく適宜人員構成の刷新を考慮することが望ましい。

2. 名誉顧問制度について

地区名誉顧問の在り方につき、一部世論を背景とする問題提起がある。当然、本制度の存在そのものに対するものとは思われず、任命権者による任命のあり方、基本的には

A) マンネリ化した終身的任期による人員数増。

B) 時として、ご都合主義的手法による選任。等々を指摘する心情的なものと推測される。

当委員会としては、会則上地区ガバナーの任命権に干渉する内容の検討には躊躇を感ずることを前提としながらも、議論の結果、次のような結論とし提案したい。

- 1) 複合地区会則第21条に基づき、地区ガバナーは極少数の名誉顧問を任命する。
- 2) ガバナー経験者は終身元地区ガバナーであり、国際協会、日本レベル各種委員会、複合地区(各準地区)等に於いて、重要な任務や役職就任を指名される現状にあるので、地区CAB構成員名簿に元地区ガバナー名簿を添付することとする。
- 3) 元地区ガバナーが、地区ガバナーの要請に応じ、会合等に出席する場合の会合費、旅費等は、地区規則の準用が適当と考えられる。尚、慶弔既定についても同様に、CABにおいて検討いただきたい。

【その他の項目】

1. 地区委員会の設置種別について

地区委員会の設置及び委員長の任命については、当然地区ガバナーの専決事項であるが、委員会活動の活性化並びに複合地区レベルの各種委員会との協調、そしてさらに広範な発展を図るため、出来る限り複合地区各種委員会との整合性を考慮した上で地区委員会(長)の設置及び名称の決定をしていただきたい。

※本件については、第46回地区年次大会分科会において関連事項が議案提出され、全員意義無く可決承認された。

2. リジョン費、ゾーン費等の自粛について

各リジョン、ゾーンの自主性を尊重するが、時節柄極力自粛に勤めると共に、RC、ZCに務めて経済的負担を掛けないことが基本であることを再認識願いたい。

※本件については、「1.」同様年次大会分科会にて議案提出され、提案趣旨に添い、「自粛・廃止に向けて推進すべき」との結論が、全員の強い希望として承認を得た。その方策については、次期CAB出

発に際し、CAB構成員・三役研修会、次期RC会議・ZC会議、Z諮問会等々の機会を活用し早急に行われるよう提案する。

【以下参考までに、年次大会議案集より提案趣旨を転記。】

R費・Z費については従来各R・Zの任意に任せ、キャビネットは関知しないとして来たが、現状では殆どのR・Zで徴収しており、その在り方を地区全体で検討してみるべき時期に来ているものと考えられる。ライオンズの誇りは大切にしたいが、経済界の厳しいリストラの実情に鑑み、またシニアクラブの新クラブの誕生も考慮し、ライオンズクラブとしても運営費の節減には精一杯努めるべき時期ではないかと思われる。

クラブとしての思いやり予算程度は別として、一律課賦は努めて自粛の方向を心がけると共に、各クラブでも地区役員の負担軽減に務めるなど、その在るべき姿について意見交換をして見ることと致したい。また、周年行事についても、招待範囲を原則としてR内とすると共に、登録料は飲食費の範囲程度に留めるべきではなかろうか。

3. 地区年次大会の簡素化について

従来、年次大会の運営については概ね二つの考え方がある。

A) 代議員による議案審議のみの運営

B) 年一度の祭典を兼ねる運営

経費その他は、その方向付けにより大きく変化するため、根本的な議論の必要があり、今後の課題として取り組まれることが望ましい。

4. 構成員研修会及び三役スクール等の充実について

指導的立場につくメンバーは、その職務の遂行のために、正確な知識を身に付け、広範な情報を吸収理解した上で、国際協会並びに地区ガバナーの指針に添う努力をすべきである。各々の役職者の活動が充実感溢れるものとなるよう、各種研修会の一層の充実が図られることを期待する。

CAB構成員等予定者及び各クラブ三役予定者については、各々のCAB主催研修会前になるべく早い時期に、リジョン毎に非公式な三役予定者勉強会等を開催し、各位の意識知識の充実を図ることが望ましい。

以上、答申いたします。

地区運営検討委員会に参加して



地区運営特別検討委員会
副委員長／地区長期計画
指導力育成委員長
L. 後藤 隆一
(柏中央LC)

八月二日第1回委員会開催。岡野ガバナーより委嘱状が交付され、委員会の目的、性格、そして諮問事項の内容説明等受ける中、委員各位は些か神秘的な面持ち。振り返るに、この時点では、その後毎回長時間に亘る会議が頻繁に開催され、調査検討に相当な時間を割かざるを得ず、各々が過去に経験無き程ライオンズに関する勉強を強いられることになるとは、誰も気付いていなかったのではなかろうか。多分、岡野ガバナー以外は。

三項目の諮問事項が提示され、かなり広範な審議が必要と予想された為、各項目毎に担当分科会設置。夫々細部調査検討し、全体会議にて調整を図り、徐々に具体的答申案策定作業を進めるべく合意し、ヨーイドン。

その後毎月全体会議開催。その合間を縫いそれぞれの分科会にて各案件の検討が進められる。途中、第3項（クラブおよび地区運営の在り方）が極めて多岐に亘る為、第1・3項については合同分科会として進行。各会合に於ける議論の内容は、ライオンズクラブの全容を出来る限り客観的に眺めるところから始まり、あるときはライオンズの原点を探る議論となり、そこから将来のC地区の進むべき路を見定めようと、ミクロからマクロ、そしてまたミクロへと、毎回とどまる様子無く延々と議論が続く。11名のライオン戦士の侃々

たるやり取りとなる。

議論が進む中、内容によって、ガバナーの専決権に干渉するのではと思われる事項には当然慎重な対応が要求され、一方コンピューター等各々の情報量に差異があるものは擦り合わせに時間が掛かることとなった。又、時として地区役職者や各クラブの現状を否定するところから議論を始めざるを得ないこともあり、改めて、委員相互の強い信頼関係に感謝することとなる。

各会議は、非常にレベルの高いライオンズ勉強会の様相を呈し、現状の分析から将来の展望へと議論が進む中、各委員のライオンズにかける情熱に互いに圧倒されつつ、それぞれのライオンズ哲学を語り、心地良い興奮を覚えることとなった。

答申に著れたもの以外に数多くの事項について議論がなされ、今後継続して検討したいものも幾つか積み残すこととなった。時間に限り有る中である程度区切りをつける必要があり、今回の答申は、最終最善のものとは成り得ない。今後とも、C地区ライオンズメンバーの英知が結集され、様々な機会の活用により、二十一世紀へと続くライオンズの活動が更に活性化されたものとなることを願いたい。



地区運営検討委員会に参加して



地区運営特別委員
L. 植村 力子
(柏なのはなLC)

今年度「運営検討委員会」という新しい役割が小泉昭地区名誉顧問委員長を柱として11名でス

タートをしました。いわゆる一番興味深く、誰しもがライオンズクラブに対していただいている運営方法の進め方を検討していく委員会です。あまりにも大きな問題だけに、更に3つの分科会を設け、毎月何度も検討し方向性を見つけ出すのですからとても忙しく大変でしたが、やりがいのある役職と、とても感謝して活動させていただきました。

中でも自分が担当する「女性会員の増強、及びシニアクラブ結成支援」という岡野正義ガバナーの諮問です。全国シニアLCからのアンケート調

査、地区LCの調査結果などいろいろな角度から深く追求していくうちに不思議と原点であるライオンズクラブのあり方に落ち着くのでした。

新時代に対応したライオンズクラブの結成、育成は、やはり地域の人々と協力しながらメンバーだけでかたよらず、地域、国内、そして世界の人々への奉仕事業を核とし、無理のないスリムな経費設定や、老若男女を問わず誰しものが参加しやすい門戸の広いクラブを目指さねばなりません。

これからのライオンズクラブの為に…



333-C地区地区運営特別委員／地区YE副委員長
L. 正木 守 (君津LC)

この度、333-C地区運営特別検討委員会と致しまして、ライオンズクラブ活性化の為に、「シニアライオンズクラブ結成支援の検討」と題し活動を開始いたしました。

実際に運営されている全国20カ所のシニアライオンズクラブからアンケートを集め、そのアンケート結果から、私達はシニアライオンズクラブと既存ライオンズクラブを区別する為の、ボーダーラインを引くことは出来ませんでした。しかし、シニアライオンズと呼ばれているクラブの持つ共通点に気が付くことができました。それは、

- ・ 経済的にスリム化したクラブ運営
- ・ 質素を旨とした、飾らない例会運営
- ・ 金銭のみに依存しない「心の奉仕」
- ・ 経験を生かした、無理のない奉仕事業
- ・ 地域にふれ合う身近な奉仕

これは、私達が忘れかけていたライオンクラブとしての原点の奉仕内容であり、純粹に奉仕活動愛する者達の事業内容思われました。無理のない自然な姿で、共に喜び合うことの出来るライオンズクラブであり、誰もが参加でき、数多くの人たちが、奉仕という名のもとで集い合い、経費を抑え、例会出席を常とし、決して飾らない素朴な奉仕活動を実践するライオンズクラブでした。

それには、男女の性差別なく会則上の問題を認識し、柔軟な姿勢で会員増強を計っていかなければならないでしょう。本来のライオンズ精神を呼び戻し21世紀に向かって心から喜ばれる事業を考えていかなければならない時期に来たのです。

この素晴らしい「運営検討委員会」が継続してライオンズメンバー全員の課題として活発に活動しますことを心から願ってやみません。

そのような目線で、ライオンズクラブを考察したときに、私達運営特別検討委員会は、シニアライオンズクラブの結成支援という狭い視野ではなく、新しい形のライオンズクラブのあり方というものを、アンケート結果から学びました。そして、無理のない自然な姿で出来る奉仕活動と、一人でも多くの人達が参加出来る「新しい形のライオンズクラブ」を検討することが、私達運営特別検討委員会の必要課題となりました。「新しい形のライオンズクラブ」と表現しましたが、これはバブル期に身に付いた、贅肉を削ぎ落とし、スリム化した運営を基本としたライオンズクラブのあり方です。言い方を変えれば、先輩ライオンズクラブがかつて発足当時に行っていた運営であり、ライオンズクラブの運営の基本であります。私達は今、長い年月に身に付いた自惚れや傲慢さを捨て、謙虚な姿勢で奉仕活動を見直さなければならない時だと気がきました。

このままの運営では、ライオンズクラブは取り返しの着かない大変な事態になるのではないかと思います。なぜならば、この一年間に4700有余名が退会しており、4700という数字はこのC地区が一つ失われたということです。このような現象は今のライオンズクラブのあり方への警鐘であり、謙虚な気持ちで反省をしなければならない時期だと云えるのです。従って、私達運営特別検討委員会は、「シニアライオンズクラブ」を結成し、「シニアライオンズクラブ」EXTの早期実現ということではなく、新しい形で生まれてくる基本に戻ったライオンズクラブが育つような環境を整えていくことが、私達の重要な役割であり、そうすることによって、数多くのライオンズクラブ

ホノルル国際大会

【ワイキキは日本人だらけ】

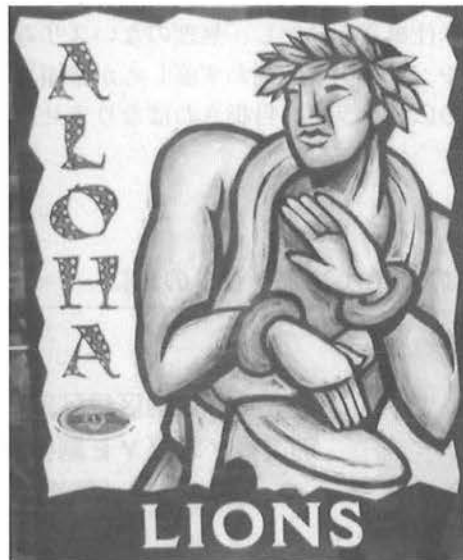
6月19日から23日までの日程で開催された第83回ライオンズクラブ国際大会では、メンバー登録者数約2万人強に家族を加えた約4万人が世界各地から集まり、米国ハワイ州ホノルル・ワイキキの街を「ALOHA・LIONS」一色にした。

ハワイに行くとあらゆるところアジア人の顔に出会う。だからといって日本人観光客だらけなのではなく、日系人を含むアジア系住民がハワイ州人口の七割を占めているからだそう。

ハワイの歴史はわずか200年あまりで、18世紀後半に有名な探検家クックに発見され英国の支配を受けた後、先住民の王カメハメハ大王一族が統治し、今からちょうど百年前の1900年にアメリカ合衆国に併合された。

一方で先住民は欧米から持ち込まれる病気に対して抵抗力が弱く砂糖産業などの労働力が不足したため、19世紀半ばの明治政府樹立の頃から多くの日本人と中国人が移民として流入し、ハワイの経済基盤建設の立役者となったのだそう。そのため、現在日系人は22パーセントを占め、州知事やライオンズの地区ガバナー・国際理事をはじめ、ハワイ州公務員の半分以上を日系人が占めていたりする。

最終的な日本人参加登録者数は統計を待ちたいが、日本の国内8複合地区から驚くほどのメンバーと家族が参加したのだから、ジュネブライドの新婚旅行組、会社の社内旅行組、家族連れを含めたワイキキはライオンズ一色と言うより日本人だらけだったといってもいいだろう。



【木下新ガバナー、始動！】

ホノルルでの国際大会開催は1976年、1983年に続いて3度目。今回は10年以上に及ぶアメリカの好景気を背景にホテルやコンベンションセンターなどの施設が大幅に改善されており環境はこれまででも最高と評判だった。さらに次期国際会長が赤白青の国旗色鮮やかなフランスから就任するとあって閉会式の演出も派手で、カレンダー上では岡野ガバナーの任期がまだ一週間残っているものの閉会式で事実上就任されたお祭り大好きな船橋っ子新ガバナー、木下務Lの門出にふさわしい大会だったと思う。



パレードはやっぱりブラスバンドの行進が一番似合う！

【インターナショナルパレード拝見】

参加者数が多いことも手伝って、今年のインターナショナルパレードは圧巻だった。会場となったのはワイキキのメインストリート、カラカウア・アヴェニューを通行止めにしたパレードは予定時間を延長して午前9時半から午後1時半までの4時間にも渡って続いた。今回のわれらが日本のパレード順番は今回はかなり早いほうで御神輿、和服姿に和傘の女性ライオン・ライオンレディ軍団、そしてブラスバンド先導で国際理事候補者の335複合地区・団忠男Lキャンペーン軍団、そしてガバナー、ガバナーエレクトに8複合地区の参加者が続いた。

来年のインディアナ州インディアナポリスでの第84回大会では麻生Lを擁する私たち333複合地区がこの国際理事候補キャンペーンの演出を担当することになる。

それはともかく、日本8複合地区のパレード参加人数は凄まじく、白Tシャツ・白ズボンに赤はっぴで統一したパレードの評価は上位に入ったそうだが、帽子とのバランスなどもう少し工夫する余地があると思った。

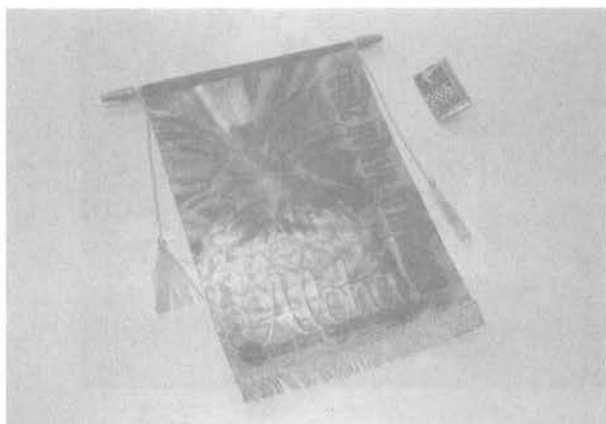
北アメリカのカナダ、アメリカ合衆国の各地区、次期国際会長を擁するフランスはもちろん、ハバ



国際大会を報じる現地のワイキキニュース！



ハワイ大会オフィシャルTシャツとキャップ



第83回国際大会のオフィシャル・バナーはパイナップル！

ナナンダ前国際会長率いるタイなどは、ブラスバンドの人数やパフォーマンスに関わる人たちの衣装や演出が極めて凝っていて素晴らしかった。

特にファッションでは赤白青のトリコロールで衣装をまとめたフランスとベネトンの国イタリア、ハバナナンダ前国際会長が指導された「ハーモニー」の要素としてのメンバーシップ、フェロウシップ、リーダーシップ、パートナーシップなどのキーワードの接尾語「シップ」を船にかけてヨットを山車にした演出は優れものだった。

アメリカ勢は、例年通り各州の州選抜ブラスバンド大隊とダンスパフォーマーを自分の州からハワイまで連れて来ていて、お金のかけ方が半端でなかった。

とにかく鮮やかな色彩、動きのあるパフォーマンス、ブラスバンドなどの音の出る仕掛け、大きな看板や山車、プラカード、子どもたち、女性集団またはカップルなどの演出を数多く取り入れないと効果的にアピールできない。

参加されていない方々のためにこれらに要素の例をご紹介します。カラー写真でお伝えできないのが残念なぐらい、カラフルな衣装が多かった。



白馬車のアービン国際会長夫妻。第1副会長、第2副会長は赤いマスタングのオープンカーで、
ハワイの風景にとけこんでいた



子どもたちを前面に押し出した演出は、間違いなく評判になる



フランスは全員おそろいの3色パラソルに
3色スーツでカップルの行進！
とてもスマートでさわやか、男性は無帽！
さすがはファッションの国！

ハバナナンダ前国際会長の
タイのパレードは

メンバーシップ
フェローシップ
リーダーシップ
パートナーシップのハーモニー

だから船（シップ）をひっぱる!?



日本8複合地区のパレード拝見



今年は早いスタートの日本8複合地区



おみこしはかつがずにころがして



ゆかたに和傘の女性ライオンと
ライオンレディ軍団



国際理事候補335複合地区 団 忠夫Lのキャン
ペーン



プラカードとはっぴと帽子がややアンバランス



われらが333複合地区

早いもので岡野ガバナー率いる千葉キャビネットの一年も終わり、ホノルル国際大会で木下ガバナーへと正式にバトンタッチされた。私が2年間編集担当してきた地区ニュースも今号が最後だ。最後だから渾身の力を込めて編集しなければならないと思っていたが、緊張感がすっかりぬけてしまい、クラブへの発送が次年度にずれ込んでしまったのは、ただただ申し訳なく心よりお詫び申し上げたい。

この2年間、素晴らしい委員会メンバーにめぐまれたおかげで、準地区における P R 情報活動に何らかの「新しい風」を吹き込むことが出来たのでは自負している。先日、最終号を残して開催された第7回の地区 P R 情報編集会議で打ち上げを行った折にも申し上げたが、親

子ほど歳の若い委員長を支えてくださった各リジョン P R 情報委員のみなさん、編集委員の鹿野國秀 L、波木泰美副委員長に心よりの感謝の意を表したい。その席で波木 L からプレゼントされたブルーのネクタイはいつまでも大切にしていきたい。

早稲田大学校歌の三番に「集まり散じて人はかわれど、仰ぐは同じき理想の光」というフレーズがあるが、各クラブから出向したメンバーが集まって構成するキャビネット。毎年度、ガバナーはじめ役員構成が変わり活動内容も変わるが、仰ぐは同じきライオンズム。ライオンズクラブの更なる発展を心より祈る。



目次

ガバナーご挨拶

地区ガバナー L・岡野 正義・・・1

巻頭特集その1

第46回ライオンズクラブ国際協会 333-C 地区年次大会
「Go!Go!MAKUHARI2000」・・・3

地区年次大会委員長

L・御園生隆・・・3

地区年次大会副委員長

L・上野国吉・・・4

地区年次大会事務局次長

L・高橋輝男・・・5

地区年次大会企画委員会映像部会長

L・阿佐幸雄・・・6

地区 P R 情報副委員長

L・波木泰美・・・7

次期地区ガバナーエレクト

L・木下 務・・・8

2000～2001 年地区幹事予定者

L・小西宗仁・・・9

5 R 地区 P R 情報委員

L・野口孝一・・・10

1 R 地区 P R 情報委員

L・野垣内武志・・・10

クラブ活動のページ (1 R～10 R)・・・12

ライオネスコーナー・・・22

物故会員を偲ぶ・・・24

物故ライオンご芳名・・・25

巻末特集その1

地区運営特別検討委員会・・・26

地区ガバナー L・岡野正義・・・26

答 申 書

地区運営検討委員会委員長／地区名誉顧問

L・小泉 昭・・・27

【地区運営特別検討委員会に参加して】

地区長期計画指導力育成委員長／地区運営特別検討委員会副委員長

L・後藤隆一・・・30

地区運営特別委員 L・植村力子・・・30

運営特別検討委員／地区 Y E 副委員長

L・正木 守・・・31

速報 ホノルル国際大会・・・32

編集後記・目次・・・36

ライオンズクラブ国際協会

333-C 地区ニュース Vol. 4

発行日 2000 年 6 月 15 日

発行者 ライオンズクラブ国際協会 333-C 地区

地区ガバナー L・岡野 正義

〒260-0025 千葉市中央区問屋町1番55号

T E L 043-243-2528 F A X 043-247-4756

編集者 ◎L 吉原稔貴 ○L 波木泰美 ○L 千本芳秀

○L 鹿野國秀

印刷所 文陽堂印刷紙工株式会社 tel. 047-325-1611

(レイアウト 倉本忠幸)